

素案(案)に対する委員からの意見

番号	意見の内容
1	家庭での生ごみには限りませんが、「販売店や飲食店に対し、小分けや小盛りでの販売や提供を行うよう協力を要請する」というような文言を入れたらどうか。
2	11 ページの本文最終行『助成件数、あっせん件数のいずれも減少傾向にあります。』の後に「これは、戸建住宅と集合住宅に居住する区民の割合が近年逆転し、集合住宅に居住する区民が 60%を超えてきた社会情勢の変化も一因と考えられます。」と入れたらどうか。
3	12 ページの 1 行目から 4 行目にある『区政モニターアンケートでは、「生ごみ処理機またはコンポスト化容器の購入費助成を知っていますか。」という問いに、「助成を知らない」が 50.3%と半数を超えています。また、「助成は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 32.0%であり、合わせて 82.3%が助成内容を知らないとなっています。』を削除してもいいのではないかと。 また、コンポスト化容器の購入については、現行の施策では増加は難しい。抜本的な見直しの時期にきているが、助成金の引き上げだけでは限界がある。JAとの協議、新たな視点での検討が必要としたらどうか。
4	19 ページの(2)製品プラスチックの分別の徹底の提言について容器包装プラスチックの分別の方がより重要ではないかと思しますので、「容器包装プラスチックの分別の徹底」とタイトルを変更して、内容を見直してはどうか。
5	現在、環境省と経済産業省の合同で容器包装リサイクル法の見直しが行われています。関係団体のヒアリングが終わり、これから本格的な審議が始まるという状況です。これからの議論の流れによっては、製品プラスチックを容器包装プラスチックと一緒にリサイクルできるよう制度を変更するという可能性もあると思う。
6	古着・古布の回収量については、行政回収よりも集団回収が多くなっている。これは、事業者に助成金を支給した効果は大きく、事業者が積極的に集団回収への勧誘を行い、区民にとっても重い衣類を持って決められた場所・日時に行くより、便宜性が著しく向上し、成果に結びついたと考えられる。 このことから他の品目でも助成金を支給することで、集団回収を更に進める上でも大いに参考とすべき事項と考えます。
7	24 ページの(7)集団回収に対する支援の拡大の提言について 1 全区立小学校で集団回収を行う中で 3 R の大切さを学ぶ。 2 地域の世代を超えた交流が行われる。 この 2 点が連鎖的に実施されれば、家庭、学校、地域が一体となって取り組むことのできる画期的な提言だと思います。